

第117号
進学特集

藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

東京大理科一類 現役合格!

高知大 医学部 横浜市立大

東北大、名古屋大も合格!



令和5年度合格実績

国立74名、早稲田・上智・東京理科・MARCH・難関大合格

明治大学
青山学院大学
立教大学
中央大学
法政大学

01 合格体験記

大学受験を終えて

平川 諒 (掛川市立東中学校)
《東京大学理科一類 進学》



私が大学受験に取り組みにあたって意識したことは4つあります。1つ目は受験範囲を早めに終わらせ、演習に取り組むことです。高校2年次に高校の範囲の学習を終了

し、高校3年生からすぐに過去問題や演習問題にあたる生徒もいます。彼らの約1年のハンデを解消するため、私も高校の学習の範囲を2年次に終えるように家庭学習に取り組ましました。そして、3年次の頭から演習を始め、夏までには5年分の過去問題に取り組みました。

強の中で自分の弱点を分析し、「どうしたら成績を伸ばすことができるか」をよく考え、実行することで効率の良い学習になります。逆に言えば、自分の理解している内容と、理解していない内容が区別できなければ、成績の向上は期待できません。しょう。

2つ目は数学、理科といった理系科目だけでなく、他の科目でも論理的に考えて勉強するということです。成績を上げるための一番の近道は、本質を理解することだと考えました。このような意識を持つことで自分の弱点を明確に把握し、確実な成績の向上につなげることができました。また、これは前述のように受験範囲を早めに終わらせるために必要なことでもあります。例えば、数学や物理の公式と呼ばれるものは、全ていつでも証明できるようにしておく、言い換えると証明できないものは使わないことや解法を暗記しないことなどが挙げられます。現代文や英語の長文問題でも、文章の構造から要点を抽出するために、本質を理解することは常に重要であると考えています。

3つ目は、自己分析をしっかりとおこない、勉強計画につなげることで、外部模試や日々の勉強

4つ目は継続することです。1日でも勉強しなければ、その能力は落ちてしまいます。特に計算力や、長文を読む力については顕著だと思えます。落ちてしまった力は勉強を再開すればすぐに戻りますが、その戻す時間そのものは無駄になります。そのため、数日だけ沢山勉強するよりも、毎日少しずつでも勉強することを勧めます。

大学受験において、合格するためには運も必要だと思えます。しかし、運を上げることはできないので、自分の実力を上げるしかありません。受験本番まで不安は尽きないと思いますが、不安でも、たとえ模試でA判定が出ていたとしても、最後まで成績を上げられる勉強をして合格を掴み取ってください。応援しています。最後に、支えてくれた家族や友人、先生方のおかげで合格することができました。ありがとうございました。

全力で受験に取り組み、多くの実績を残す

私立大学合格状況

芝浦工業大	3名	東京薬科大	2名	神奈川工科大	5名	静岡理工科大	14名	鈴鹿医療科学大	2名	阪南大	1名	私立大合計(既卒制含む)	586名
駒澤大	5名	東京農業大	7名	神奈川大	8名	静岡福祉大	4名	皇學館大	1名	摂南大	1名	宮崎国際大	1名
国士館大	4名	東京電機大	1名	麻布大	2名	静岡産業大	8名	名城大	4名	四天王寺大	6名	日本文理大	1名
国際ファッション専門職大	2名	東京女子医科大	1名	早稲田大	4名	静岡英和学院大	1名	藤田医科大	1名	近畿大	9名	崇城大	1名
國學院大	4名	東京経済大	4名	立教大	5名	東海学院大	1名	南山大	2名	関西大	2名	日本経済大	2名
工学院大	4名	東京家政大	1名	目白大	4名	中京学院大	1名	名古屋商科大	1名	大阪体育大	3名	宗城大	1名
杏林大	8名	東海大	13名	明星大	2名	岐阜学院大	1名	名古屋経済大	2名	大阪産業大	1名	日本文理大	1名
北里大	3名	帝京平成大	1名	明治大	3名	岐阜聖徳学園大	1名	名古屋学院大	1名	大坂学院大	1名	日本経済大	2名
桜美林大	3名	帝京大	13名	明治学院大	6名	岐阜協立大	6名	同朋大	1名	追手門学院大	1名	西南学院大	1名
青山学院大	2名	中央大	6名	武蔵野大	1名	松本大	1名	東海学園大	1名	龍谷大	13名	九州産業大	1名
了徳寺大	1名	拓殖大	4名	星薬科大	1名	山梨学院大	3名	中部大	3名	立命館大	6名	環太平洋大	2名
神田外語大	4名	大東文化大	3名	法政大	3名	金沢工業大	1名	中京大	11名	花園大	1名	岡山理科大	1名
文教大	3名	大正大	1名	日本文化大	1名	新潟経営大	1名	至学館大	2名	同志社大	4名	奈良大	8名
日本医療科学大	2名	専修大	9名	日本獣医生命科学大	1名	新潟医療福祉大	2名	愛知工業大	2名	京都橘大	2名	神戸女学院大	1名
獨協大	2名	成蹊大	2名	日本大	10名	横浜薬科大	3名	愛知学院大	10名	京都女子大	1名	神戸学院大	2名
東京国際大	1名	情報経営イノベーション専門職大	1名	二松学舎大	2名	田園調布学園大	1名	浜松学院大	1名	京都産業大	5名	関西学院大	4名
国際医療福祉大	3名	上智大	2名	東洋大	7名	湘南工科大	1名	常葉大	185名	京都外国語大	3名	関西福祉大	2名
酪農学園大	1名	順天堂大	7名	東京理科大	4名	関東学院大	2名	聖隷クリストファー大	13名	びわこ成蹊スポーツ大	2名		

令和5年度大学合格状況
明誠ならではの丁寧な指導が合格実績を生み出す

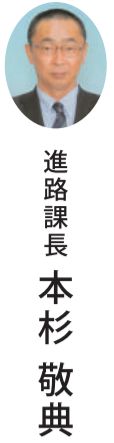
国公立大学合格状況

東京大	1名	滋賀大	1名	公立はこだて未来大	1名	静岡県立大	10名	名桜大	1名
電気通信大	1名	名古屋工業大	2名	釧路公立大	3名	長野大	1名	周南公立大	1名
茨城大	2名	名古屋大	1名	琉球大	2名	都留文科大	3名	山陽小野田市立山口東京理科大	3名
山形大	1名	静岡大	11名	高知大	1名	福井県立大	2名	広島市立大	1名
東北大	2名	信州大	1名	島根大	2名	横浜市立大	3名	京都府立大	1名
室蘭工業大	1名	山梨大	1名	鳥取大	1名	東京都立大	2名	名古屋市立大	2名
北見工業大	3名	横浜国立大	1名	京都工芸繊維大	1名	高崎経済大	2名	静岡文化芸術大	2名



国公立大合計(既卒制含む) 74名

令和5年度 最高の学びの環境を求めて



進路課長 本杉敬典

昨年度入試について

国立大学の一次試験に当たり私立大学の9割近くが利用する共通テストが、昨年四年目を迎えた。従来の傾向から大きな変化はなく、「思考力・判断力・表現力」を深く問う出題で、複数資料(表・グラフ・地図・写真・文章など)を読み解き、必要な情報を抽出して解答を導く力が求められる。また、解答マーク数に変化がなくても問題文の分量が多くなる傾向は続いており、リーディングでは

は頭著であり、課題文・データを読み解いての小論文、模擬授業を受けレポートを提出したうえで、口頭試問・プレゼンなどを取り入れる大学も増加した。その状況の中39期生の先輩方は積極的に様々な受験形態に挑戦し、最後まで粘り強く戦った。その取り組みについては、学年主任の小股先生の報告に譲ることにし、進路課では学習指導要領の改訂に伴う、現高3生より始まる「新課程入試」について考えていきたい。

新課程入試について

本年の大学入試から新課程入試がスタートするが、8科目受験を勧める。

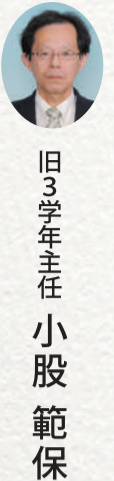
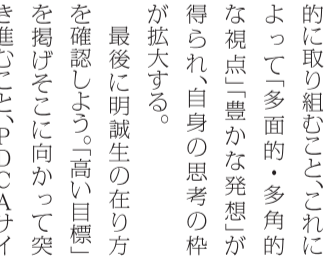
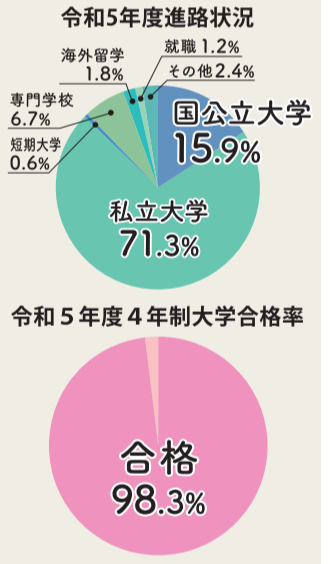
これに合わせて共通テストも再編されることとなる。下記の表を参考にポイントを整りしておく。

最大の変更点は新教科「情報の導入」である。国立大学では、一般選抜で必須となり8科目受験(これまで900点満点から1000点満点となる。但しその配点は大学によって異なっており一部の大学では受験は必須であるが、点数化をせず、個別試験が同点の場合に利用する大学もある(北海道大学など)。公立大学の場合は選択となっているケースも多いが(私大も同様)、国立希望生は、選択の幅を狭めないためにも8科目受験を勧める。

また、「私大文系」だから関係ない、という考え方は禁物で、政府は「文理問わずすべての大学生に数理・データサイエンス・AIの基礎的な能力を身に付けさせる」ということを目標として掲げていることに留意してもらいたい。

入試に求められる方

大きく関わると考える。共通テスト、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のすべてが「新課程入試」になるが、求められる力はこれまでと変わらず、「読み解く力」である。文章・表・グラフなど様々なデータが提示され(実社会と同じく情報過多の中で)、それらを比較・分析・検討し、導き出した自らの解答を他者に伝える力である。また、普通科理数コースの生徒が学校推薦型と一般入試で健闘していた。大半の生徒がスポーツなどの部活動に所属して学習との両立を目指している。私立大への進学希望が多い中で、最後まで学習に取り組む姿勢が多く見られた。



旧3学年主任 小股範保

令和5年度の入試は前年度の実験体験や近年の大学入試の出題傾向によった進路対策を立て、生徒が受験に向かうことができた。多くの卒業生が受験体験や受験報告書などの貴重な進路資料を提供してくれたこと、ここで改めて感謝の意を表したい。39期生卒業生の進路指導について、以下の通り概観する。

資格試験導入の延期など入試方法の不確定な要因もあった。こうした社会情勢から、多様な個性と学力を備え、探究学習を通して自ら問題を発見し、解決策を考える能力を有する生徒が求められた。そこで、感染症対策を前提に、入学生に次の指導項目を立てた。第1は、授業を中心とした基礎学力の定着。第2に、英検準2級以上の合格と相当のスコアを目標とした英語力の伸長。第3に、生徒の進路選択の幅を広げる課外活動への積極的な取組である。この3点を軸に、学年毎に具体的な進路指導を実施した。

また、「私大文系」だから関係ない、という考え方は禁物で、政府は「文理問わずすべての大学生に数理・データサイエンス・AIの基礎的な能力を身に付けさせる」ということを目標として掲げていることに留意してもらいたい。

39期生が入学した令和3年は、社会全体が閉塞感と不透明感に覆われた年だった。社会背景には2019年に始まったCOVID-19感染拡大により社会全体の活動が停滞していた。また、進路背景には大学共通テスト実施元年であり、国語の記述問題や英語の外部

1年次では、授業中の学習や家庭学習の充実を図った。担任との面談指導を繰り返した高知大(医)、横浜市

た。朝礼時に英単語テストを行い、英単語力の充実を図った。2年次では、英検の受験機会の増加により家庭学習時間が定着し、更に教員による複数回の面接試験指導を行った。12月に実施した修学旅行は、感染拡大が続く懸念から九州への国内旅行となった。地域文化を学ぶための事前学習や長崎では海外からの留学生と交流会を持つなど、実体験を重視した探究学習になった。1月に、志望理由書の作成指導を学年生徒に実施した。進路希望や学部学科や大学研究などの探究学習を通して、進路意識の向上に努めた。3年次では、授業で培われた基礎学力の充実と、問題集を活用して大学共通テスト対策を深めた。

また、「私大文系」だから関係ない、という考え方は禁物で、政府は「文理問わずすべての大学生に数理・データサイエンス・AIの基礎的な能力を身に付けさせる」ということを目標として掲げていることに留意してもらいたい。

最後に明誠生の在り方を確認しよう。「高い目標」を掲げそこに向かって突き進むこと、PDCAサイクル「計画を立案(Plan)・実行(Do)・到達度を確認(Check)・方法の修正実行(Action)」を繰り返して、目標を下方修正するのではなく、自身を目標に近づけることが明誠生の在り方だ。変化のある時こそ、「安全志向」「確実に」という意識より、「上昇志向」「挑戦」という熱い思いを大切にしたい。

(図1)今年度現役生で、入試の型別による国立大学合格者数

	推薦選抜入試		一般入試		合格人数(延べ)
	総合型	学校推薦型	前期	中期+後期	
普通科	0	3(公3)	6(国5/公1)	0	9(国5/公4)
英数科	4(国1/公3)	13(国4/公9)	26(国14/公12)	13(国7/公6)	56(国26/公30)
合計	4(国1/公3)	16(国4/公12)	32(国19/公13)	13(国7/公6)	65(国31/公34)

2025年度 大学入学共通テスト 出題教科・科目など一覧

教科	出題科目	選択方法・内容	試験時間	配点
国語	「国語」	現代文3題、古文1題、漢文1題	90分	200点
地理歴史	「地理総合、地理探究」「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」	地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※2科目選択の場合選択不可の組み合わせがあるため注意すること	1科目選択60分 2科目選択130分 (解答時間は130分)	1科目100点
公民	「地理総合/歴史総合/公共」「公共、倫理」「公共、政治・経済」			
数学	①「数学Ⅰ」「数学Ⅰ、A」	1科目選択	70分	100点
	②「数学Ⅱ、B、C」	B・Cについては各2項目より3項目を選択	70分	100点
理科	「物基/化基/生基/地基」※2つ選択 「物理」「化学」「生物」「地学」	最大2科目を選択	地歴公民と同じ	1科目100点
外国語	「英語」	1科目を選択	英語リーディング80分	100点
	「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	※英語の場合は別時間帯でリスニングあり	英語リスニング60分 (解答時間は30分)	100点
情報	「情報Ⅰ」		60分	100点

私は東北大学薬学部に入りました。そこを目指すようになったのは中学3年生の時、下村先生に薬に関する研究をしたと言ったところ、東北大学を勧められたことがきっかけです。正直その時は東北大学がどれくらい難しい大学かは理解しておらず、ただ「東北大学」という大学に自分で行くんだと目標だけを掲げていました。しかし高校2年生になり、模試も本格的に始まり、初めて東北大学の難しさに気づきました。それでも6月までは「部活をやっているから仕方ない」「高校3年生になったらやればなんとかなる」と甘い考えをしていました。しかし翌月の7月に先生から英語の受験勉強を始めるよう強く勧められました。そこでその日から英語の長文を毎日1題解く生活を始めた。夏休みも冬休みも毎日部活前に職員室に寄ってノートを提出し、部活が終わって帰宅するときに受け取るという日々を送りました。本格的に受験勉強を始めたのは高校2年生の1月からです。そこからは赤チャートを数1から数3まですべて解いたり、自分で気に入った問題集をどんどん解き進めたりしました。スマホは勉強の邪魔になると感じたのでほとんど学校に持っていきませんでした。そのおかげで夏休みの東北大学模試ではB判定を出すことができました。しかしその結果で調子になってしまい、勉強にやる気を欠いてしまった。とはいえ9月の模試ではE判定という結果でした。そこでまずいと感じたのでもう一度自分にエンジンをかけることができ、10月下旬に受けた東北大学オープン模試ではA判定をとることができました。それが自信につながり、本番の共通テストでかなり失敗してD判定が出た時もこれなら何とか巻き返せるという気持ちになることができました。AO推薦で足切りされてしまったとき、不安はものすごくありましたが、受験当日は最後まで頑張ってきた自分を信じて挑みました。自分の中では手ごたえはありませんでした。今までの頑張りが報われたのか合格することができて本当にうれいす。

02 合格体験記

東北大学合格への道のり

三岡 泰旗(藤枝明誠中学校)
《東北大学薬学部 進学》

の7月に先生から英語の受験勉強を始めるよう強く勧められました。そこでその日から英語の長文を毎日1題解く生活を始めた。夏休みも冬休みも毎日部活前に職員室に寄ってノートを提出し、部活が終わって帰宅するときに受け取るという日々を送りました。本格的に受験勉強を始めたのは高校2年生の1月からです。そこからは赤チャートを数1から数3まですべて解いたり、自分で気に入った問題集をどんどん解き進めたりしました。スマホは勉強の邪魔になると感じたのでほとんど学校に持っていきませんでした。そのおかげで夏休みの東北大学模試ではB判定を出すことができました。しかしその結果で調子になってしまい、勉強にやる気を欠いてしまった。とはいえ9月の模試ではE判定という結果でした。そこでまずいと感じたのでもう一度自分にエンジンをかけることができ、10月下旬に受けた東北大学オープン模試ではA判定をとることができました。それが自信につながり、本番の共通テストでかなり失敗してD判定が出た時もこれなら何とか巻き返せるという気持ちになることができました。AO推薦で足切りされてしまったとき、不安はものすごくありましたが、受験当日は最後まで頑張ってきた自分を信じて挑みました。自分の中では手ごたえはありませんでした。今までの頑張りが報われたのか合格することができて本当にうれいす。

03 合格体験記

気負いすぎない

板倉 尚也 (牧之原市立相良中学校)

《横浜市立大学医学部医学科 進学》



そう思っていました。もちろん、そうして入った人もいると思いますが大事なことはその根幹に必要な「勉強が楽しい」という気持ちです。楽しいと思っていな

受験を終え気づいたことは、自身の最大のパフォーマンスを出すためには適度な危機感を持つことが大切だ、ということです。危機感がなく、現状に満足するとそこで頭打ちになってしまふと思います。逆に現状を否定しすぎると自信の喪失に繋がり、本番でいつものパフォーマンスを発揮することができなくなりま

私が横浜市立大学を選んだ理由は、豊富なカリキュラムに加え、教育に関する科目が充実している点です。私は教育政策から貧困問題の根本的解決を目指しており、そのためには充実した教育に触れる機会が必要でした。横浜市立大学はそのような環境が整っており、自身の目標を追求するのに最適な場所だと感じました。また、自身の実績やプレゼンテーション能力を活かせると考え、総合型選

抜で横浜市立大学を志望しました。英検準1級の資格や、英語スピーチコンテストでの優勝経験、英語通訳ボランティアなどの経験を通じて、自己の能力を証明しようと決意しました。高校生活では合格に向けてさまざまな努力をしましたが、特に英検準1級に向けて勉強する中で、1回目の不合格を経験しましたが、その経験を糧にして学習方法を改善しました。移動時間を有効活用し、単語帳を繰り返し、英語のポッドキャストを聞くなどして、英語力を向上させました。また、週1回のオンライン英会話の授業では、積極的にスピーキングの練習を行い、コミュニケーション能力を伸ばしました。部活動では吹奏楽部に所属し、練習と勉強の両立に励みました。先輩や後輩との協力を通じて、チームワークやリーダーシップの重要性を学びました。

大学ではさらなる挑戦をしたいと思っています。開発途上国の貧困問題に取り組むため、国際関係や開発学を学びたいと思っています。また、留学や国際交流を通じて、多様な文化に触れ、国際的な視野を広げたいと思っています。さらに地域や国際社会に貢献できるスキルを身につけるため、様々なボランティア活動やインターンシップに積極的に参加したいと考えています。

最後に私の合格に向けて学習や面接のトレーニングをしてくださった先生方から感謝します。皆様のサポートがあれば私の目標達成は難しかったでしょう。今後とも返返しをするため、精進していきます。

04 合格体験記

A Tale of Triumph

大石 三貴 (菊川市立菊川東中学校)

《横浜市立大学国際教養学部 進学》



私は総合型選抜を経て、横浜市立大学国際教養学部

に合格しました。将来の職業として、フィリピンと日本の混血である私は、フィリピンで目撃したストリートチルドレンの問題に心を痛め、国際公務員として開発途上国の貧困問題を解決したいと考えています。そのためには多様な文化や社会問題に関する知識を身に付け、国際的な視野を持つことが不可欠です。

私は一般推薦入試で東京都立大学理学部化学科に合格しました。私が化学科へ進学しようと思った動機は2つあります。1つ目は、昔から理科での化学実験が大好きだったこと、2つ目は中学生のころから化粧品や医薬品に関する研究をしてみたかったことです。これらの希望を実現するため、試行錯誤しつつ、自分に合った勉強法で約1年間、一生懸命勉強しました。高校3の初めは、受験勉強とは

う勉強法は、集中できるところで全力で勉強に励み、一方で全く集中できないときは全力で休むといった、いわゆる短期集中型の勉強です。30分ごとに休憩をはきんで、長く勉強をやる方が良く、といった意見も多いですが、自分は集中力がすぐに途切れるタイプだったので、こちらの方が適していました。また、勉強法ではないかもしれませんが、勉強法で勉強のモチベーションがなくなったときは、大学へ進学してからの自分を思い描くようにしていました。自分の学びたいことを学べる未来が待っていると思えば、つらい勉強も頑張ろうと思えます。受験勉強は辛いことや苦しいことしかありませんが、合格した今となってはかけがえのない経験となり、頑張ったよかったです。この経験はこれから生きていく中で大変なことがあっても「あのとき自分はあんなに頑張ったから大丈夫」と思えるし、大きな自信につながると思います。大学合格はゴールではなくスタート地点だと思っているので、高校よりも難しい勉強ばかりだとは思いますが、より一層努力していきたいと思っています。

「勉強に近道などない。ただやるしかないんだ」私の担任の先生はよく、この言葉を口にしていた。よくインターネットのサイトで、「たった一瞬で現代文の偏差値が上がる勉強法」というような記事を目にする。このような記事は、志望校合格を目指す受験生にとって希望の光であるだろう。実際に私もこのような記事を漁っていた時期があった。これらが悪影響

諦めず絶対に最後まで頑張りたいという強い精神を持ち、ただひたすらに前を向きやるしかない。勉強とはすぐに良い結果に結びつかない。私は数学と現古漢に強い苦手意識を持っていたので、この2つに力を入れて勉強したが、なかなか成績が伸びず、非常に苦しかった。問題を解いていながら、自分はこの教科で点数をとることができるといえるだろうか、受験を成功させることができるのだろうか、と何度も不安になった。しかし私は諦めず解き続けた。そして12月頃からテストの点数が上がっていった。結果に出るのは遅いが、絶対に諦めずにはならない。受験勉強のようには何かの目標に向かって努力を積み重ね、達成しようとするのはこの先の人生で何度も経験することである。受験勉強はその一つにすぎない。そのため諦めず頑張る必要があると思う。そしてつまらないと思わぬが勉強をするのではなく、楽しむことも大切である。楽しむことができればモチベーションが高まり、自然と勉強の習慣が身についてくる。

ただ黙々と机に向かって勉強という地味な作業を一年ほど続けなければならぬ受験勉強は、相当強い気持ちがない限り心が折れそうになるものである。しかし、これを乗り越えた先に、自分の将来の可能性を切り開くための切符と成長した自分を掴むことができる。そしてそれを手にしたとき、底知れない喜びを感じることだろう。ただ前を向き、やる。この単純な行為のみが、志望校合格へと導く唯一の手段なのだ。

06 合格体験記

ただ前を向け!

漢人 啓士郎 (焼津市立小川中学校)

《静岡大学人文社会学部 進学》



を及ぼすことはあまりないと思われるが、反対に一瞬で偏差値が大きく上がる、といった効果が現れることはまずない。というも勉強とは、毎日継続してインプットとアウトプットを繰り返す、地味な作業であるからだ。国語や英語の語学分野の教科は特に一日で実力が伸びることはない。

ではそのような地味な作業を継続するにはどうしたら良いのだろうか。それは諦めず絶対に最後まで頑張りたいという強い精神を持ち、ただひたすらに前を向きやるしかない。勉強とはすぐに良い結果に結びつかない。私は数学と現古漢に強い苦手意識を持っていたので、この2つに力を入れて勉強したが、なかなか成績が伸びず、非常に苦しかった。問題を解いていながら、自分はこの教科で点数をとることができるといえるだろうか、受験を成功させることができるのだろうか、と何度も不安になった。しかし私は諦めず解き続けた。そして12月頃からテストの点数が上がっていった。結果に出るのは遅いが、絶対に諦めずにはならない。受験勉強のようには何かの目標に向かって努力を積み重ね、達成しようとするのはこの先の人生で何度も経験することである。受験勉強はその一つにすぎない。そのため諦めず頑張る必要があると思う。そしてつまらないと思わぬが勉強をするのではなく、楽しむことも大切である。楽しむことができればモチベーションが高まり、自然と勉強の習慣が身についてくる。

ただ黙々と机に向かって勉強という地味な作業を一年ほど続けなければならぬ受験勉強は、相当強い気持ちがない限り心が折れそうになるものである。しかし、これを乗り越えた先に、自分の将来の可能性を切り開くための切符と成長した自分を掴むことができる。そしてそれを手にしたとき、底知れない喜びを感じることだろう。ただ前を向き、やる。この単純な行為のみが、志望校合格へと導く唯一の手段なのだ。

07 合格体験記

最後までやりきった受験

堺 ひらり (静岡大学教育学部附属静岡中学校)

《茨城大学教育学部 進学》



私は後期試験を受験し、合格することができました。前期試験の結果が不合格だと発表された時には、後期試験を受けるという考えはほとんど残っていませんでした。周りの生徒がどんな進路に決まっていこうか、自分はまだまだ頑張ろうと思うことができません。既に合格していた私立大学への進学を考えていました。しかし、担任の先生や両親が後期試験を受けることを勧めてく

まずは大学や学部、学科のアドミッションポリシーをよく読むことから始めました。面接でどのようなことが聞かれるかを、アドミッションポリシーから逆算して考えていく作業をおこないました。2、3年生の時に具体的な進路を決めていく中で、自分が大学で学びたいことや、なりたいたい教員象を既に自分の中で考えていたので、伝えたいことや質問の答えはスムーズに考えていくことができました。しかし、実際に先生と面接練習をしていくと上手く答えることができません。試験日が近づいてくると不安が大きくなっていました。色々な質問に対する答えを覚えていくことは、覚えきれないことへの不安を感じたり、試験で聞かれても逆に上手く答えられなかったりすることにつながります。自分の想いや考え、将来の夢、学びたいことなど、自分の根幹となる部分を明確化しておくことで、どんな質問も柔軟に答えられるようになり、不安もなくなりま

た。その結果、当日の試験ではアドミッションポリシーを意識しながらも、自分の軸はぶらさないように落ち着いて面接に臨むことができました。

後期試験に向けて準備をしていたときは本当に辛く、一日一日が非常に長く感じましたが、今振り返るとあの時、国公立大学に進学したいと思っただけで、先生方が背中を押してください、後期試験を受けることを決めました。私の受けた後期試験は、共通テストと面接の点数での合否が決まるものでした。試験までは6日間しかなく、とにかく時間がありませんでした。

経験となりました。

08合格体験記

好きな環境で

山田 舜祐 (藤枝市立青島中学校)

《静岡県立大学食品栄養科学部 進学》



私は学校推薦型選抜で静岡県立大学に合格しました。本格的に受験勉強を始めたのは高校3年生の6月頃でした。はじめはどういった参考書を使い、どのように勉強すればいいのかはわかりませんでした。そのため先生や友達に聞いたリ、ネットやYouTubeで調べたりして、ある程度自分の勉強方法を確立させました。次に問題となったのは勉強する環境です。家ではテレビやゲームなどの

distractionsが気になります。大学入試共通テストや二次試験では、周りの知らない人が座り、そういった人たちが競うことになり、そのため普段行っている勉強のときから、こういった環境に慣れていくことはとても大切なことだと思いました。このような環境に行くことでオンとオフのメリハリができ、勉強に集中することができました。

次に私は化学を重点的に勉強しました。学校推薦型選抜では筆記試験で化学が必要でした。そのため、夏休みの時から化学をやりました。しかし、夏に行った模試では思うような結果が得られませんでした。それでも勉強を続けていき、秋の模試では自分が満足できるぐらいの偏差値をとることができました。そして自信が付き、良いモチベーションで受験することができました。どれか一つでも自信を持てる教科をつくるのは、模試などのモチベーションにもなるので大切なことだと思いました。

最後に、受験の戦い方は様々あると思います。そのため、早い段階からどの大学の学部、学科に行きたいか決め、その大学に入るためにどのような戦い方をすれば合格する可能性があるのか考える方がよいと思います。私は元々化学が好きだったり、得意だったりして、化学を使いたいという思いがありました。そういう小さいことでもいいので何をやりたいか明確にして、受験勉強に取り組んでもらいたいです。そして勉強する環境も大切なので、自分でいろいろな場所を試して、一番集中することができるところを選ぶのが大切だと思います。

09合格体験記

目標に向かって

山内 彩楠 (藤枝市立岡部中学校)

《静岡県立大学看護学部 進学》



私は幼い時から看護師になりたいという夢がありました。看護師は患者やそのご家族の方々に寄り添い、多くの人を支えることができ、そのための勉強はより早くすることが合格への道にもつながり、受験期はひたすら自分を見直す工程の繰り返しでした。模試の重要性が高く自分を見直す機会をつくってくれた。受験期はあっといって、共通テストから二次試験に向けて気持ちを切り替えるのが大変だった。こういう所も受験は個人戦でもあるといえると思う。静岡県立大学看護学部の二次試験は面接と口頭試問なので、過去問が少ないので対策をしっかりと。まずは面接シートを作り、多くの先生方と面接練習をした。英語の口頭試問は英検準2級、2級の文法問題を解き、毎日英語に触れることを意識した。大学の対策を続けることが合格へとつながっていったと思う。4月から大学生となるが、卒業後に看護師となるために1年次からしっかりと勉強することはもちろん、大学ではさまざまな人に出会う機会が増えるので、自身の価値観を広げたいと思う。また高校生の頃は海外に行くことができなかった。海外に行き英語力の向上に努め、大学の経験を将来につなげられるよう新しい挑戦をしたいと思う。明誠でのこの3年間は私にとってとても充実した高校生活になった。受験期は多くの先生方に協力していただき、二次試験の面接、口頭試問にも対応することができた。これからも明誠での経験を大学生活にいかせるよう、自分を見直す機会をつくらうと思う。

10合格体験記

努力は自信に繋がる

増田 来輝 (島田市立島田第一中学校)

《常葉大学健康科学部 進学》



私は常葉大学健康科学部看護学科に総合型選抜で合格することができました。またこの合格体験は人生で一つの節目となりました。私は幼い頃から看護師になるという夢を持ち続けており、大学を目指すことに決めました。その夢を実現するために、友人関係を大切にしたり、自分自身の短所を見つけて改善するなどして努力してきました。

この合格体験を通じて、努力が実を結ぶことを実感しました。また、自分の夢を叶えるためには、適切な目標を立て、それを達成するために熟慮することや日々の努力を怠らないこと、今やるべきことは何か考えることが重要だと感じました。これからは大学で看護の学びが待っています。私は大学で確かな技術と知識を身につけ、目標としている病気や障がいにより看護を必要としている患者さんとご家族に寄り添える看護師になり、将来地元の静岡県の医療に貢献したいと考えています。また大学で学ぶことは私にとって大きなチャンスであるため、興味があることはもちろんのこと、資格取得などいろいろなことに挑戦し、経験を積み上げて成長し続ける覚悟です。

常葉大学健康科学部看護学科に合格した経験は私にとって大きな自信となりました。自分の夢や目標に向かって挑戦し、努力を重ねることができ、自分ならできるという自信を持つことができました。看護師の一年目は覚えることが多かったです。仕事があまくいかなかったりとつらいと感じたり、壁にぶつかったりしますが、今回の経験で学んだ努力をし、自分ならできるという自信を持ちたいと思っています。

11合格体験記

好きなことから逃げなかった夏休み

鈴木 亜梨紗 (焼津市立大井川中学校)

《東海大学海洋学部 進学》



私が志望した大学は中学3年生の時、担任の先生に勧められたことがきっかけでした。付属高校に進学することが一番の近道とはわかっていましたが、テニス部に入部したかったため明誠に進学しました。高校3年生のゴールデンウィークを境に部活を引退した後、本格的に受験の準備が始まりました。私の志望大学は変わらなかったため、総合型で挑戦することに決めました。

この合格体験を通じて、努力が実を結ぶことを実感しました。また、自分の夢を叶えるためには、適切な目標を立て、それを達成するために熟慮することや日々の努力を怠らないこと、今やるべきことは何か考えることが重要だと感じました。これからは大学で看護の学びが待っています。私は大学で確かな技術と知識を身につけ、目標としている病気や障がいにより看護を必要としている患者さんとご家族に寄り添える看護師になり、将来地元の静岡県の医療に貢献したいと考えています。また大学で学ぶことは私にとって大きなチャンスであるため、興味があることはもちろんのこと、資格取得などいろいろなことに挑戦し、経験を積み上げて成長し続ける覚悟です。

常葉大学健康科学部看護学科に合格した経験は私にとって大きな自信となりました。自分の夢や目標に向かって挑戦し、努力を重ねることができ、自分ならできるという自信を持つことができました。看護師の一年目は覚えることが多かったです。仕事があまくいかなかったりとつらいと感じたり、壁にぶつかったりしますが、今回の経験で学んだ努力をし、自分ならできるという自信を持ちたいと思っています。

12合格体験記

備えあれば憂いなし

檜林 海太 (牧之原市立榛原中学校)

《東洋大学国際学部 進学》



私は東洋大学国際学部の国際地域学科の総合型選抜を受験しました。総合型選抜を受験した理由は、一般受験の前に試験があるため、合格のチャンスが増えると考えたからです。

東洋大学国際学部の総合型選抜の試験内容は、なぜこの大学を選んだのかという理由を書く志望理由書の提出、東洋大学のWebサイトに掲載されているWeb体験授業を受講し、その授業内容を要約し、それを踏まえて自分が取り組むべき課題を設定することです。

しかしモチベーションが上がっている中で私はプレゼンテーションという壁に直面しました。今までプレゼンの経験がなかったため、スライドの作り方も、聞き手を引き付ける発表の仕方ともわかりませんでした。そのためプレゼンを経験したことがある友人に協力してもらい、スライドを作りました。そして、そのスライドを先生に提出し、添削を繰り返して完成させました。次に発表です。発表は7分以内で厳守で表情や話すスピード、視線などあらゆることに気を遣わなければいけないため、一番苦労しました。10人近くの先生方に発表を聞いていただき、フラッシュアップしていただきました。そして試験本番は練習通りに自信をもってプレゼンすることができ、無事合格をつかむことができました。

このように総合型選抜の受験を通して、私は「備えあれば憂いなし」ということを学びました。総合型選抜は情報量が多いので、大学の情報などを徹底的に調べ上げるべきということから総合型選抜を受験する人たちに知っておいてほしいです。



令和6年度 入学式

中学22期生65名、高校42期生341名

明誠での私の目標



16 HR 石澤 星奈
(藤枝市立青島中学校)

私はこの4月に藤枝明誠高校の国際教養コースに入りました。私には高校生生活で頑張っていきたいことが2つあります。1つ目は英語です。私は

自分の言葉で多くの人と繋がりたいと感じ、国際教養コースを選びました。これから覚えなければならぬことが増えていくと思いますが、予習や復習に進んで

取り組み、自分なりに英語と向き合っていきたいです。2つ目は自立することです。自分が高校生であるという自覚をもって生活し、自己管理を怠らないようにします。また、周りへの気遣いも大切にしたいと思っています。

この2つを目標に、有意義な高校生活を送っていききたいです。

藤枝明誠でがんばりたいこと



11 HR 小長谷 梨子
(焼津市立大富小学校)

私は藤枝明誠中学校に入学した今、がんばりたいことが2つあります。1つ目ががんばりたいことは自習です。私は中学3年間のうちに英検1級を取

得するという目標を約2年前からもっています。そのため英語の授業外でも単語を覚えるなどが必要になるので、自習をしていきたいです。

2つ目は苦手の教科の1つである音楽です。音楽の授業自体は嫌いではありませんが、歌う時に声が出せないので、そこを改善できるように練習をするなどの工夫を努力していきたいです。

目標に一步步近づいためにわからないことがある場合は先生や先輩に聞いていきたいです。

中学2年生可睡斎研修

感謝の気持ちを学ぶ



21 HR 浜田 知哉
(藤枝市立青島小学校)

私がスプリングキャンプで一番に残ったことは、「作法と食事に関する感謝です。可睡斎ではお寺独自の歩き方や坐禅など、初めて経験することばかりでした。坐禅は時間が長いと思っていたけれど実際にやってみるとあっという間に

でした。静寂の中迫りくる睡魔と格闘しながら、これまでの中学校生活を振り返りました。坐禅後は和尚様の法話です。足のしびれがまだ残るなか、他者への感謝の気持ちを持つことやルールを守ることの大切さなどをお話いただきました。

可睡斎の食事では食べ終えたお皿はお湯で洗って飲みます。最初はその意味が分かりませんでした。実はそこには作物を育てることに関わった方々への感謝があることを知り、1日目に豆腐を残してしまっただけを反省しました。

僕は今回の経験からこれからいろいろなことにチャレンジすること、ご飯では命への感謝をこめていただきますを言い、苦手でもなるべく残さないこと、この2つを大切に毎日大切にしていきたいです。



入学してまだ1週間、クラスメートの顔と名前が一致しないまま始まった集団宿泊研修。出発する前学年主任の先生からあった「目標をもって過ごすように」というお話しに習い、私は

1つ目は受け入れた中で主張を持つことです。これまで指摘されたことに対して理不尽だと感じたり、納得できなかったりしてしましました。ただ反発してしまっただけでは、自分の主張を受け取ってもらえません。そのため、まずは相手の考えを受け入れ、その上で自分の主張を持つというように

2つ目は仲間の大切さです。スマートフォンなど、便利なものがない中でどのように時間を過ごすのか、メッセージで送っていきません。しかし、就寝前に仲間と話して盛り上がった2時間

藤枝明誠中学校・高等学校 吹奏楽部 第35回定期演奏会

焼津市大井川文化会館ミュージコ <入場無料>
令和6年6月15日(土) 開場:17時45分 開演:18時30分
16日(日) 開場:12時45分 開演:13時30分



中学1年生 オリエンテーションキャンプ



12 HR 松永 暖史
(藤枝市立青島小学校)

このオリエンテーションキャンプはとても良い研修になりました。なぜなら、野外炊事やウォークラリーでクラスの団結力や仲を高めることができたからです。他にも未来への手紙を書き、中学校での目標を決めました。目標に向かって進んでいくときの壁になりそうな欠点、例えば行動が遅く、次に取り組むことに

他にも藤枝明誠の校歌や歴史についてより深く学ぶことができました。また、布団の畳み方や部屋の清掃の細かいルールを守ることに、細いところまで気配りをする大切さを学びました。



このように、今回のオリエンテーションキャンプを通して多くのことを学びました。この経験をを通して明誠中学で学び、高校生として大人になるための一歩を踏み出せたと思います。

優勝! USA School & College Nationals 2024



チアリーディング部 "Daisies"
311HR 大石 結花
(藤枝明誠中学校)

3月25日に幕張メッセにて開催し、本校からは3チームが参加。高校編成 Show Cheerleading部門 Noviceで第1位Daisies(中高混合選抜チーム)、第3位Daisies next(中高混合チーム)、中学校編成 Show Cheerleading部門 Noviceで第3位Jr. Daisies(中学生で編成)にそれぞれ入賞しました。

この度は沢山の応援ありがとうございました。私たちは今年3月、幕張メッセで開催された全国大会に出場しました。今回も Show Cheerleading部門(Novice)で全国の舞台上に臨み、Daisiesは高校編成で第1位、Daisies nextは第3位に入賞し、Jr. Daisiesは中学校編成で第3位を獲得しました。このような結果を得られたことは大変嬉しいですが、結果を出すことだけが私たちの目標ではありません。私たちは自分たちの演技を見てくださる

方々に勇気や感動を届けたいと考えています。チアリーダーとしての本質を忘れることなく、一人一人、そしてチームの更なる成長を目指し、練習に取り組んでいきます。

そして、今回の経験を自分たちの大会だけでなく他の部活動の活躍を少しでも後押し出来る応援に繋がられるようにしていきます。今後とも部員一同日々努力を重ねて参りますので、これまでと同様、あたたかい応援やご支援をよろしくお祈りします。